

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成28年度病害虫発生予察注意報第1号について

平成28年度病害虫発生予察注意報第1号を発表したので送付します。

平成28年度病害虫発生予察注意報第1号

平成28年6月24日
宮 崎 県

病害虫名 黒点病

作物名 かんきつ

1 発生地域 県下全域

2 発生量 多

3 注意報の根拠

- 1) 平成28年6月中旬の巡回調査の結果、発生面積率66.7%は平年(8.0%)に比べて多、発病度1.93も平年(0.32)に比べて多である(図1、図2)。
- 2) 発生面積率、発病度の数値(6月)はここ10年間で最も高い(図3、図4)。
- 3) 今後、降雨が続くなど本病にとって好適な条件が続いた場合、果実への感染拡大が懸念される。

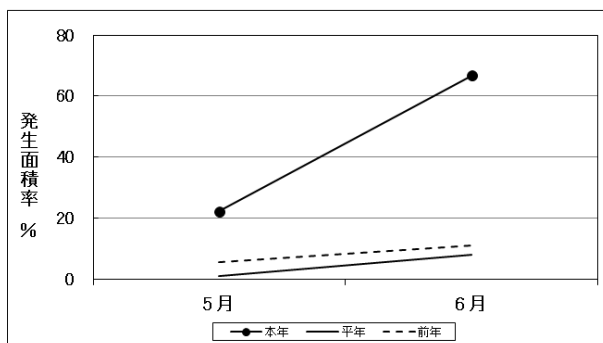


図1 月別発生面積率の推移

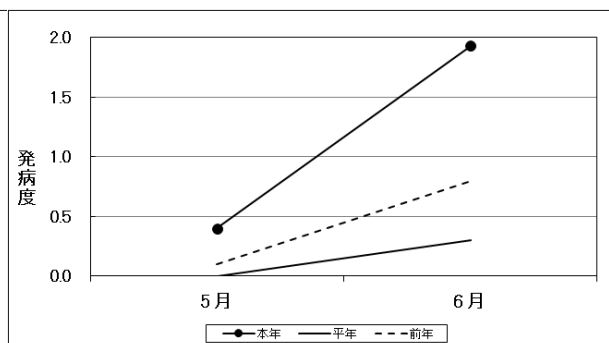


図2 月別発病度の推移

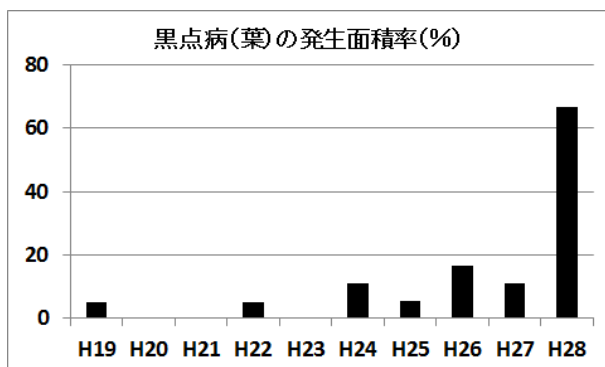


図3 年度別発生面積率

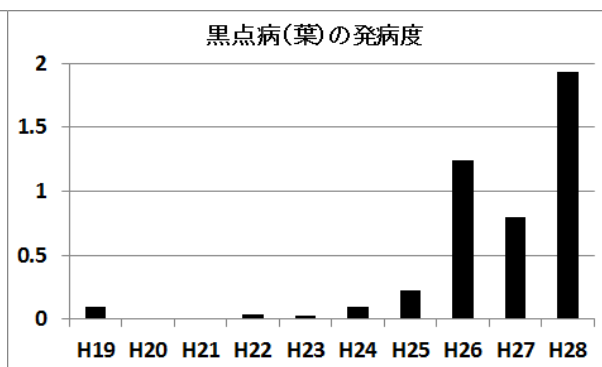


図4 年度別発病度

4 防除上の注意

- 1) 本病は糸状菌 (*Diaporthe citri*) により葉、果実、枝に発生する病気であり、果実への感染時期は6～10月である。
- 2) 果実への被害を防ぐために、時期を逸しないよう継続して防除を行う。
- 3) 伝染源は保菌した枯れ枝であるので、枯れ枝の剪定・除去（園外へ持ち出し）を行い伝染源を少なくするとともに、肥培管理に注意し、樹勢の強化・枯れ枝の発生抑制に努める。
- 4) 防除の目安は、薬剤散布後の積算降水量が250mmを超えた時点であるが、降水量が少ない場合でも、薬剤散布の30日後には次の防除が必要である。
- 5) 降雨によって発生が助長されるので、降雨前の薬剤散布を徹底する。
- 6) 降雨が続き晴天がないような場合でも、雨間散布により防除効果が期待できるので防除適期を逃さないよう防除を行う。また、降雨がなく晴天が続く場合でも、本病の更なる被害拡大を防ぐために定期的に薬剤防除を行う。

5 その他

- 1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- 2) 6月1日から8月31日の3ヶ月間、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課
 （病虫害防除・肥料検査センター） 若杉
 TEL：0985-73-6670 FAX：0985-73-2127
 E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp